速報

# 北海道医師会　第171回臨時代議員会

**◆令和８年度事業計画・予算等を報告。**

**◆次期日本医師会代議員・予備代議員を選出。**

**◆令和８年度から医学部卒後５年間を経過した臨床研修医の会費減免を承認。**

**◇総　務　部◇**

松家会長の挨拶

鈴木知事の来賓挨拶

会場の様子１

会場の様子２

第171回臨時代議員会を去る３月15日（日）午前10時、Web会議［Zoomミーティング］併用にて当会館のほか、全道の代議員を結び開催した。

冒頭、大原議長の進行により、議事録署名人の指名を行い、会長挨拶、来賓挨拶の後、議案審議に入った。

議案第１号「日本医師会代議員選挙の件」および議案第２号「日本医師会予備代議員選挙の件」では、前号掲載の選挙結果のとおり選出した。

議案第３号「令和７年度会費減免および会費減免の拡充（臨床研修医）に関する件」では、令和７年度に申請のあった会費減免および令和８年度から医学部卒後５年間を経過した臨床研修医の会費減免を理事者提案のとおり承認した。

続いて、令和８年度事業計画、令和８年度予算の報告を行った。

議案第４号「当面の医療政策に関する件」では、荒木常任理事から詳細な説明があり、本代議員会の名において決議文を作成したい旨の提案がなされ、起草委員会に審議を付託することが了承された。

次に、代表質問ならびに一般質問を受け、理事者からそれぞれ答弁を行った。

**◇代表質問◇**

１．森下　清文　代議員（道南ブロック）
「医療専門学校の現状打破について」
（答弁者：鈴木副会長）

２．伊澤　　功　代議員（中央ブロック）
「北海道における外来医師過多区域の課題と地域医療の将来像について」
（答弁者：佐古副会長）

**◇一般質問◇**

１．近　祐次郎　代議員（札幌市）
「控除対象外消費税（いわゆる損税）について」
（答弁者：水谷常任理事）

２．佐野　宏行　代議員（札幌市）
「2026年度診療報酬改定における在宅医療ターミナルケア加算・看取り加算の算定要件について」
（答弁者：伊藤常任理事）

３．小原　雅人　代議員（札幌市）
「2026年度（令和８年度）診療報酬改定における診療所医療への影響と北海道医師会の見解について」
（答弁者：伊藤常任理事）

質問終了後、各ブロックの起草委員を議長から指名し、別室およびZoom会議ブレイクアウトルームにて起草委員会を開催した。

その後、起草委員会で検討した決議案（別掲）を採択した（この決議文は日本・都府県・郡市医師会、政府閣僚、政党、国会・道議会議員、知事、道内自治体首長、「日本の医療を守る道民協議会」構成団体およびマスコミほか関係各方面に送付し、各項目の実現に向けて要請した）。

最後に、松家会長より閉会の挨拶を行い、本代議員会の全日程を終了した。

〈事業計画・予算関係、質疑応答等は、順次当会ホームページに掲載予定〉

## 決　　議

解散総選挙において自民党が結党以来最多となる圧倒的な議席を獲得し、第二次高市内閣が発足した。施政方針演説の中で高市首相は「日本列島を強く豊かに。」の使命のもと、政策のあり方の本丸は「責任ある積極財政」であるとし、「経済力」の項目に最も多くの時間を割いたが、医療や社会保障の充実に関する言及は、我々の期待に到底届くものではなかった。

医療の現場は危機に瀕している。物価や人件費高騰の影響をまともに受け、病院・診療所ともに経営状況は日を追うごとに悪化し、さらに、医療機関に最低限必要な人材の確保もままならない状況が続いている。このような厳しい状況の中で、2026 年度の診療報酬改定は 30 年ぶりに 3%を超えるプラス改定となったが、地域医療の崩壊を食い止めるためには依然として十分とは言えない。

社会保障の充実のために積極的に財源を投入することは、国民の命と健康を守るほか、雇用拡大や産業の育成をもたらし、しっかりと地に足のついた本当の意味での強く豊かな日本列島の実現へとつながる。

今後は、新たな地域医療構想の議論が本格化するが、医師の働き方改革の地域医療への影響の検証も不可欠である。本道の地域医療を確実に守っていくためには、各地域の声を丁寧に聴きながら医療提供側と地域住民がともに安心できる医療体制をすべての関係者が協力し合って構築することが重要である。そのために、我々医師は一致団結して全力を尽くす決意である。

その実現のため、以下の事項を強く要望する。

一、　世界に誇る国民皆保険を堅持すること。
一、　社会保障の財源を十分に確保すること。
一、　控除対象外消費税問題の抜本的解決を行うこと。
一、　医師の働き方改革は、医師の健康と地域医療がともに守られるものであるよう、状況に応じて柔軟に制度設計の見直しを行うこと。
一、　メディカルウイング（患者搬送固定翼機）の運用にあたっては、社会的ニーズに対応可能なように十分な支援を行うこと。
一、　災害発生時や新興・再興感染症の流行時は、適切な医療提供体制が維持できるよう医療機関に対し十分な支援を行うこと。
一、　北海道の次代を担う若い世代が、希望をもって医師を志すことができるよう地域医療体制と医師のキャリア形成を充実させること。
一、　医療 DX の推進においては、利便性や効率の追求のみならず医療提供者と患者の双方に不利益や過度の負担が生じないよう、十分に配慮すること。

令和８年３月 15 日

**一般社団法人北海道医師会**
**第 171 回臨時代議員会**